

それぞれの立場で考える「看取り」

平穏死のすすめ～多職種協働で考える～

日時／平成26年**9月20日** 13:30～16:00(開場13:00)

場所／**池田町中央公民館 大ホール**

定員／**500名**(申込み先着順、参加費は**無料**です)

介護、医療、看護に携わり関心のある方。従事者の他、学生・家族・住民なども可。

講演①／平穏死のすすめ

石飛 幸三 氏(医師) 特別養護老人ホーム 芦花ホーム 常勤医師

講演②／いのちをつなぐということ～あたたかな看取りに学ぶ～

國森 康弘 氏(フォトジャーナリスト)



「平穏死のすすめ」で有名な石飛氏・全国各地で活躍される写真家 國森氏の講演2本立て!



出版図書／家族と迎える「平穏死」
特別養護老人ホーム 芦花ホーム 医師 石飛 幸三氏

『理想的な人生最期をあなたはどのように迎えますか?』ベストセラー「平穏死のすすめ」の著者でもある石飛先生に思い切ってお手紙を差し上げたところなんと実現の運びとなりました。それぞれの立場で共に考える機会になればと思います。



出版図書／いのちつぐ「みとりびと」
写真家 國森 康弘氏

看取りは命のバトンリレー。いつか自分が「旅立ち」を迎えたとき、愛する人に手渡していくこと。写真絵本シリーズ「いのちつぐみとりびと」をファインダーからみえた看取りの実際をお話いただけます。昔はこうして在宅での看取りが行われていました。「いのちをつぐ」ということを一緒に考えてみましょう。

主催:岐阜県多職種連携人材育成事業委員会(社会福祉法人 新生会・岐阜県) 後援:揖斐郡池田町
問い合わせ・申し込み先/社会福祉法人新生会 サンビレッジ新生苑(揖斐郡池田町本郷1501)

TEL.0585-45-5545 FAX.0585-45-7131 E-mail:sun@shinsei-kai.or.jp 担当/酒井・本間

※会場へのアクセス/駐車場が限られていますので、公共交通機関(養老鉄道「北池野」駅 下車 徒歩5分)でのご来場にご協力ください。



講師プロフィール



講師：石飛 幸三氏
特別養護老人ホーム・芦花ホーム常勤医

1935年生まれ。1961年慶應義塾大学医学部卒業。外科学教室に入局後、1970年ドイツ・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。1972年東京都済生会中央病院にて、食道遊離移植や脳梗塞予防を目的とした頸動脈内膜摘除術を手がける。1993年同院副院長。2005年より現職。終末期の高齢者への看取りの問題を取り上げ、「平穏死」の実現につながる看取りのあり方を世に問うた著書が話題となる。



講師：國森 康弘氏
写真家、フォトジャーナリスト

1974年生まれ。京都大経済学研究科修士課程修了、英カーティフ大ジャーナリズム学部修士課程修了。神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。中東各地の紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀県や東北被災地などで看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影に力を入れている。 www.kunimorifoto.net/

【看取りセミナー申込書】

所 属 (施設名など)	※いずれかに○をつけてください。 ・ 住民 ・ ご家族(サービス利用) ・ 学生	
連絡先 (事業所のみ記入)	(住所) 〒 _____	
	TEL _____	FAX _____
氏 名 ・ 職 種 (事業所のみ記入)	① _____	(職種： _____)
	② _____	(職種： _____)
	③ _____	(職種： _____)
	④ _____	(職種： _____)
	⑤ _____	(職種： _____)
ご連絡事項	★参加にあたり車イスなど特別な対応が必要な場合はご記入ください。	

〈お申し込みは、FAXにてお願いいたします〉

FAX.0585-45-7131

申込締切／**8月20日(水)必着** (担当：酒井・本間)